

はあもにい

第43号

第43号 発行/2023(令和5)年9月30日 藤沢市青少年指導員協議会 発行責任者/猪野恭子 編集/広報委員

「青少年指導員の活動を思う」

子ども青少年部 部長 三ツ井 幸子



青少年指導員の皆さまには、日頃から地域の青少年の健全育成、非行防止に向けてご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

皆さまのこの度の任期2年間は、活動の制限から再開へと向かう道程にあり、状況の変化に対応し工夫を凝らしながら、普段の見守りを始めさまざまな事業を続けていただいておりますことを、大変心強く感じております。コロナ禍により、「密」「不要不急」とされる活動は休止や変更を余儀なくされましたが一方では、人々の暮らしに、そして子どもたちの成長に、そのような活動がいかに大切でかけがえのないものであったかを噛みしめることとなりました。

改めて、「子どもたちの元気はまちの元気」という思いで、皆さまと一緒に、地域ぐるみで子どもの笑顔を守るまちづくりに取り組んでまいりたいと思います。引き続き、お力添えを賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

青少年指導員の活動パネル展示

7月15日(土)～26日(水)

藤沢市役所 本庁舎1階ラウンジ



*より多くの皆さまに青少年指導員の活動を知っていただくため、本協議会の活動内容と14地区それぞれの活動の様子をパネル形式で展示しました。

青少年指導員ってどんなことをしているの？

青少年指導員は、子どもたちの健全育成と非行防止を目的に青少年に関わるさまざまな活動をしています。

藤沢市内14地区の青少年育成協力会と公立小・中学校 PTA または各学校から推薦を受けた各地区16名が、藤沢市長及び神奈川県知事から委嘱されています。任期は一期2年間です。

街頭指導キャンペーンや講演会などで横断幕を掲げて啓発活動に取り組んでいます。

JUMP UP U-20 WINTER CONCERT



藤沢市在住・在学・在勤で20歳以下の音楽活動をしている青少年に発表の場を提供しています。

次回開催予定
2024年1月28日(日)
藤沢市民会館 大ホール
入場無料

各地区での育成事業

各地区の青少年育成協力会の一員として、公民館まつりやキャンプ・ウォークラリーなど子ども向けの事業を行っています。

創作・メンテナンス活動

各地区の事業でいつでも使えるように、大型紙芝居や人形劇の作製や修理をしています。



みらい子どもフェスタ

毎年5月5日に少年の森で開催される、みらい子どもフェスタに参加しています。



はたちのつどい

はたちのつどいにて、受付や会場整理などのお手伝いをしています。

青少年指導員の役割

- ☆青少年の体験活動の促進
- ☆青少年団体の育成及び支援
- ☆青少年に望ましい地域づくりの推進
- ☆青少年に関する相談及び支援
- ☆青少年に関する調査と情報提供
- ☆青少年の非行防止を図るための街頭指導



街頭指導キャンペーン

7月、12月、3月の年3回、市長をはじめ市や県の関係諸団体と協力して藤沢駅・湘南台駅を中心に非行防止の意識を高める活動をしています。



鈴木市長(藤沢駅キャンペーン)

健全育成

みんなで子どもたちを見守っていきましょう。



非行防止

青少年にとってのよい環境を考えるつどい

「全国非行・被害防止強調月間」の毎年7月に講演会などを開催しています。

地区のパトロール

月2回、各地区で通学路などのパトロールをしています。



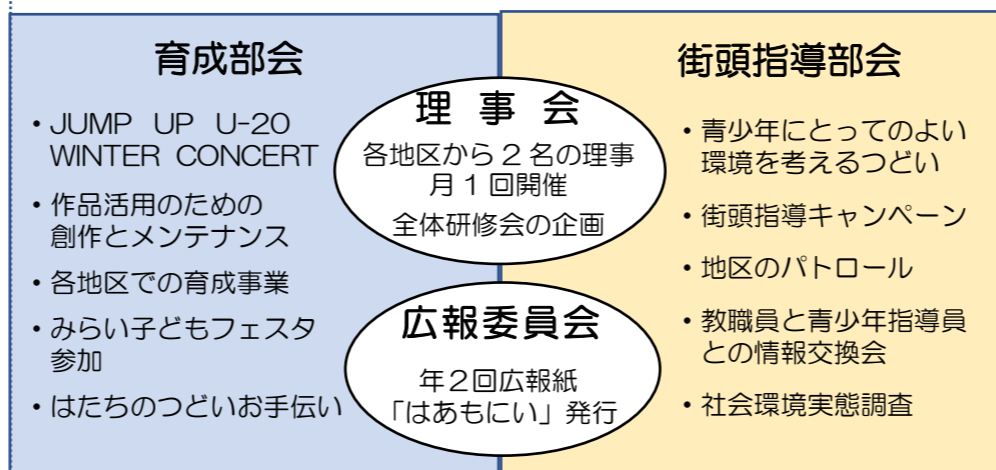
教職員と青少年指導員との情報交換会

市内小中学校・高校の先生方と子どもたちの様子などを話し合いながら情報交換をしています。

社会環境実態調査

県の要請を受け年1回、書店、コンビニエンスストア、ネットカフェ、カラオケボックスなど、子どもたちを取り巻く環境の調査を実施しています。

青少年指導員協議会の組織





「子どもが心を開くとき」 ～「信頼」を育む子どもとの関わり方～

講師

青少年と家族の未来研究所 代表
中高生のお母さん専門カウンセラー (公認心理師)

増渕 広美 氏

～講師プロフィール～

東京生まれ、藤沢市在住。
大学卒業後、埼玉県の県立高校教諭、結婚を機に編集プロダクション(企画・編集)勤務。出産を機に専業主婦を経て、神奈川県にて再び教職に就く。神奈川県立高等学校校長を務める。
定年退職後は、県立総合教育センター教育相談専門員を経て現職。青少年の健全育成、よりよい親子関係づくりを中心に活動中。

今回の研修会は、子どもに対するコミュニケーションの取り方を学ぶ機会となりました。

子どもの成長にとって大人の存在は大きなものであり、大人が子どもの力を信じること、承認すること(子どものできることに目を向けること)、ポジティブに捉え直すことなど、視点を変えることの大切さを学ぶことができました。



ここで学んだことを意識しながら、子育てをする親として、指導員としても関わる子どもたちと更に良い関係性を築いていきたいと感じました。

青少年にとってのよい環境を考えるつどい

7月7日(金) 藤沢市民会館 大ホール

犯罪心理学者が教える 子どもを呪う言葉・救う言葉

講師 東京未来大学 こども心理学部長

教授 出口 保行 氏



～講師プロフィール～

1985年大学院修了と同時に、国家公務員心理職として法務省に入省。以後全国の少年鑑別所、刑務所、拘留所で犯罪者を心理学的に分析する資質鑑別に従事。心理分析をした犯罪者は1万人を超える。
その他、法務省矯正局、法務省法務大臣官房秘書課国際室勤務等を経て、2007年法務省法務総合研究所研究部室長研究官を最後に退官し、東京未来大学こども心理学部教授に着任。2013年からは同学部長を務める。
日テレ「ナカイの窓」は、番組開始時から6年間レギュラー出演。現在、フジテレビ「全力脱カタイムズ」にレギュラー出演などさまざまなメディアにて活躍中。

今回の講演会では、日常的に子どもたちに関わる大人として、自分たちの「常識」を疑う姿勢が大切であることを学びました。

日ごろ「よかれ」と思って大人が使う言葉も、子どもにとってはネガティブに作用し、結果的に犯罪に繋げてしまうこともあると聞き、あらためて我々大人の言動を見直さなければならないと感じました。

子どもの短所を長所に変換して捉える、例えば「のんびり(短所)」ではなく「慎重(長所)」、結果だけでなく行動プロセスをきちんと褒めるなどポジティブに接することで子どもの意識が好転していくということをあらためて理解しました。

また犯罪者の目線に立って考えること、その地域での犯罪の現状を認識したうえで、防犯対策に取り組むことが大切であることも学び、その学びをこれからの指導員としての活動に活かしていきたいと思いました。

編集後記

青少年指導員について、わかりやすくお伝えする紙面づくりを心がけて編集しました。私たち指導員は、研修会や講演会を通じて、地域でさまざまな事業を行っています。多くの方に私たちの活動を知っていただけると嬉しいです。(青少年指導員協議会のHPをご覧ください)

